

芝浦工業大学後援会 常任幹事会議事録

日 時 2024 年 1 月 20 日（土）13：30～15：30
開 催 場 所 芝浦工業大学豊洲キャンパス交流棟 402 教室及び Zoom 会議システムにて実施
出 席 者 (対面)宮本明彦、横溝聡、加藤千里、大越雅也、北条勝彦、玉川祐之、渡部麻弥、
田本敬一、堀江顕、鬼崎充司、寺岡薫、東久子、竹中知身
(オンライン) 深井弘志・朝火里津子・増田高夫
(欠席者)和田清美
議事録署名人 堀江顕、寺岡薫
事 務 局 西川政男、鈴木直江、守屋知佳子、武藤祐馬、野田梨香(文責)

議題

1. 能登半島地震の大学としての取り組みなど(情報共有)
2. 勉強会報告と表彰
3. 検討事項
 - 1 2023 年度予算執行状況と 2024 年度予算案編成
 - 2 2024 年度会議日程検討
4. 確認・報告事項
 - ①地域交流会実施報告
 - ②インフルエンザ予防接種実施報告
 - ③11/4・5 芝浦祭物産展実施報告
 - ④200 円朝食実施報告
 - ⑤2024 年度後援会援助金申請について
 - ⑥支部事務補助費について
 - ⑦その他

1. 能登半島地震の大学の取り組みなど(情報共有)

プレスリリース他

<https://www.shibaura-it.ac.jp/headline/detail/20240111-7070-902.html>

【添付資料】芝浦工業大学後援会慶弔見舞金等支給規則改訂版 4.10

- 事務局西川より追加資料「令和6年能登半島地震により被災された学生の皆様へ」に沿って説明
支援措置は授業料の免除等、被災状況によって設定。
帰省先石川県24名。全壊・半壊4名。こちらの学生には引き続きの支援や奨学金の紹介等を行う。
- 事務局西川より熱海セミナーハウスについて説明
3月22日オープン、3月1日から予約受付。ただし、学生利用優先のため6月1日以降家族予約開始。セルフサービス基本、利用前に利用規則を必ずお読みいただく。
食堂有で朝食夕食提供可能、素泊まり利用料金はご家族は2,150円、学生は1,000円。(朝食・夕食付は追加料金)
決済方法は現地決済で現金・クレジットカード・QRコードと様々対応。
予約はサイト構築中。まず利用者登録をしていただく。徒歩5分。海水浴場も近く、花火も見物できる、利用料金7歳未満無料、温泉有。カラオケルーム・研修室有。
予約は学生3か月前から可能、家族は2か月前から可能。
定員90名。和室5人定員。
【横溝副会長】卒業した保護者は利用できないか。
【事務局西川】卒業生の家族として利用ができる。
【鬼崎東海支部長】熱海のセミナーハウスは観光で行ってもいいのか。支部の皆さんに紹介したい。
【事務局西川】もちろん可能。ぜひご活用いただきたい。
【横溝副会長】学校より後援会から寄付要望が出ている。
【事務局西川】管理運営業務の委託費用などランニングコストがかかるためお願い致します。
- 宮本会長より
後援会には【添付資料】「芝浦工業大学後援会等慶弔見舞金等支給規則改訂版 4.10」があるため万が一の場合は慶弔規程に従って支援することをご了承下さい。
熱海セミナーハウスについて三役には開所式のご招待を頂いているため、行かせていただくことをご了承下さい。

2. 勉強会報告と表彰

- 後援会役員 59名参加。
- 生命科学科 食品栄養研究室 越阪部奈緒美教授による講演「食習慣と Well Being」を聴講。
- 勉強会后、各支部に分かれて「大宮キャンパス 5号館 6号館の食事情の改善」をテーマにグループディスカッションを実施。各支部代表によるプレゼンテーションを行い、投票。
- 投票結果(当日、発表)
- いただいた意見に対して、学生生協様からの報告
- 横溝副会長より勉強会表彰と勉強会で出た意見を生協に要望し、それに対する生協からの回答報告
第1位九州・沖縄支部 12票・ナノブロックプレゼント、第2位北海道支部 10票・テクしばくんトートバッグプレゼント、第3位東北支部 9票テクしばアクキーとステッカープレゼント。

【追加資料】23 年度生協大宮食堂活動報告および 24 年度活動案・要望への回答に沿って説明

勉強会で混雑状況をオンラインでという意見があったが現状難しいため、時差利用を促すアナウンスを実施する。

情報発信について現在ツイッターしか活用していないため、インスタも挑戦する予定。

席は混んでいないが、会計が混雑している現状があり、芝浦独自の取り組みとして PayPay の利用開始を 1 月から行い、現金比率 3 割が 2 割になった。

芝浦ペーカリーでは毎月試食会を開催し学生に好まれるパンを検討している。

生協との話し合いを通じて、決済スピードを上げるために努力している、様々な取り組みをしていることが感じられた。

3. 検討事項

1 2023 年度予算執行状況と 2024 年度予算案編成について

2023 年度予算執行状況は別紙とする。

【添付資料】2023 年度後援会予算執行状況

多岐にわたるため、予算案編成の内容については別紙とする。

➤ 2024 年度予算案編成について検討をお願いいたします。

【添付資料】2024 年度後援会予算案について

□ 横溝副会長より【添付資料】2023 年度芝浦工業大学後援会予算執行状況について説明
現状約 500 万来期にまわる予定で推移

続いて【添付資料】2024 年度予算について説明

【事務局西川】来年度の父母懇について、豊洲学事部から共有された内容を代わりに説明する。

来年度は保護者・保証人とのコミュニケーションの在り方を再定義して改善していくとのこと。

オンライン大学相談会実施、学祭期間中のキャンパス開放デー、職員か学生アルバイトのキャンパスツアー実施。

地域交流会を拡大し大学院進学・奨学金説明等を行うため職員派遣予定。

父母の皆様は随時の情報提供をするため、HP に新たに Q&A を掲載する予定。

このような回答となっているが、コロナも収束しているため、いつまでもオンラインとのハイブリッドなどではなく、対面中心とした開催方法を希望するなど、後援会の皆さまの意見を伺い要望していただければと思っている。

【横溝副会長】地域交流会引き続き実施必要。

本部管轄の都府県についても実施検討。関西・北陸・上越・信越は地域交流会の実施の必要を感じる。食事ではなくて軽食でもいいのか。大学との共同主催としたい(後援会主催だと集客が弱い。大学から職員がくると宣伝すればもっと集客が図れる)。

昔は地域交流会に校友会の方も呼んでいた。校友会と後援会の交流を図るため今後検討。

定期総会はハイブリッド開催をしたい。コロナ禍前の運営状況は確認必要あり(配員等)。

卒業される役員の方、対面参加希望。学長からの感謝状贈呈を希望。

定期総会で懇親会を行うならば、校友会の方、教職員も出席希望。

芝浦祭について検討必要。九州 17 分で完売。売り方変えるか、品数増やすか検討した方がいいのではないか。お客様に対してイメージが悪いのではないか。

□ これより芝浦祭及び勉強会についての議論となる

【大越監査役】金額を再検討する方法もある。(予算と寄付額)

【横溝副会長】勉強会は芝祭と比較すると規模や楽しさが劣ってしまう(1 日の実施であつたり)。

形を変えた方がいいのではないか。大宮祭で物産店展をやるとか。東海・東北は日帰りに

なってしまうし、勉強会は楽しいという声がありませんでした。

【堀江東北支部長】大宮祭でも開催となると東北・東海は大宮に振り分けづらい

【大越監査役】分けなければいけないのは東北支部と東海支部のみ。希望によって大宮の物産展にいくのもありなのではないか。

【鬼崎東海支部長】大宮祭の5月に間に合わせるにはもう準備しないといけない。

【大越監査役】実行委員会は12月頃から動いている。

【宮本会長】全支部が参加しなければならないこともない。

【事務局西川】大宮祭は来れる方が集まって、開催するのでもいいのではないかと。

【加藤副会長】盛り上がるイベントを二つにしているのか。

【大越監査役】支部ごとに人数の差が大きい。一つの行事で全員が集まるのが理想。コロナ渦も明け今後は支部の人数も平準化していくだろう。今が過渡期。18人の役員全員が芝祭に来るのは考えづらい。コロナ前も2つのグループに分けていた。

【竹中九州・沖縄支部長】そもそも6年前のことを振り返ると総会が全員参加、11月は2つに分かれる。今年度は9月に交流会・父母懇だったので、新人さんは11月勉強会からスタート。2年目芝祭にも、という形でお互いに譲り合っていた。全員参加の行事があれば、不公平感は薄れる。

【鬼崎東海支部長】このような雰囲気は感じたが、東海からは不公平感を感じるという意見はない。発言はない。定期総会はみんな集まるが、経験がない。戻してもらったら、また変わってくるかと思う。事務局が収集するのは大変だと思うが、終わった後のアンケートが今年度は全員になかったため、みんなの意見が聞けていない。

【事務局鈴木】2019年定期総会全員参加とあったが、コロナ渦に入ってから後援会からの支援・補助金がたくさんあり、執行状況で500万円位が残るとなると、定期総会を2019年と同様に開催するとなればどれを絞って、どれを残すのか皆様にも検討してほしい。

【横溝副会長】学校に取られて、やりたいことが出来ないというのは後援会活動としてよろしくない。後援会としてやりたいことを決めた残りで学校に支援するっていう形じゃないと楽しくない。大学に申し訳ない気もするが、総会が全員参加であればみんなで開催しましょう。

【宮本会長】総会も全員来なきゃいけないわけではない。仕事等で都合がつかなければオンラインでの参加はあってもいい。基本はリアル参加をしてほしい。

勉強会は必要なのかという意見が三役の中で出ている。机上だけでなく、施設見学等でもいいのではないかと意見がある。まとまっていないが、様々な議論をしている。

【横溝副会長】来年度の予算を決めていく中で、皆様に知恵を頂きたい。校友会との交流会は来年度は後援会主催。場所は小規模になる。

【玉川常任幹事】芝祭、一部の方の負担が多かった。プロジェクトメンバーを作った方がいい。長いスパンで準備していてもいいのではないかと考えた。

【横溝副会長】物産展、思ったより早く終了してしまった。

【鬼崎東海支部長】会計の人は大変だったはず。最初に休憩に入った人は戻ったら、もう終わっていた。ただシフトはあのスケジュールしかなかったと思う。

【宮本会長】あの規模の開催は数年ぶり。今年初めて買い物かごを使用し、お釣りも増やした。開始時間も1時間遅らせた。多少なりとも改善点はあるので皆様からご意見を頂き、より良くしていきたい。支部の皆さまからアイテムを増やして売りたいという意見も出ている。寄付の上限金額があるため話し合いながら決めていきたい。

【事務局西川】予算50万が100万になると管理リスクが高まる。準備負担も増える。17分で売ってしまうのは誇らしいことではないか。マイナスだとは思わない。買い物かごも買ってしまっ

て置いておく等考えないと誰かが持ってくるのは負担が大きい。

【横溝副会長】後から来た人からももう終わっているのかと言われてしまった。身内で買うのもどうかと思う。

【加藤副会長】改善点を見つけて次につなげたい。おつりは小銭を両替したり戻したりするとお金がかかるので会計はまとめてやっている。シフトはうまくいかなかった。コロナ渦前は昼休み後も午後販売していた。去年は客単価が低かったが、今年はリピーターが多く客単価が高かった。売り切れてしまう問題について前半・後半に商品を分けて販売する等今後対策を考えている。全員で売り場に立つのはスペースの問題があり現実的ではない。人数を分ける問題は残る。

【堀江東北支部長】全支部が早く売れるわけではないということも考えてほしい。その年その年で人も変わるし売り方も変わるから、早く売れる支部の心配をするよりも売れなかった支部の心配をしてほしい。

【東四国支部長】美味しいものを見つけられなかった。みかんは早く売れたが、サツマイモ・ショウガがあまり売れなかった。東京の方のニーズが分からなかった。

【竹中九州・沖縄支部長】2・3年かけて積み上げてきた。芝祭リーダーを作って3〜4か月前に検討してきた。早く売れるからよいという考えも方向を変えてもいいのかと思う。来年も来るからねと言うお客様もいた。品数増やしてよという声もあるので、各支部の売り切れる予算案を聞いて、全支部一律の予算でなくてもいいと思う。

【寺岡中国支部長】中国支部は売れ筋があまりない。路線を変えて新しい銘菓をもってきて、売れ順を気にせず楽しんで参加した。各県のものを持ってきた。大宮祭の開催は素晴らしいが、支部の人数を減らしており役員が少ないので、豊洲の芝祭だけで大変だった。仕入れや、価格設定も大変だった。年に2回は難しい。隔年にされるとかはどうでしょう。

【横溝副会長】ただの一意で話ただけなので、ありきではない。

【竹中九州・沖縄支部長】本部は仕入れて売るという楽しみを体験していないのが気になる。地方の特産品を仕入れて大宮で売ってもいいのかなと思う。

【田本北海道支部長】結論をどちらにもっていきたいのか見えない。漠然と色々な意見が出ていて、時間配分をメインに考えるのか、人数を来れることを考えるべきなのかどうしたいのか、結論も方向性がないと何でも言えてぐだぐだになってしまう。

二部制もありだし、安売りして安く買える場、50万の予算で寄付できているのが37万円。約3割引きしている。手間暇をかけて輸送費をかけて安く売っている現状で、早く売れてしまっただけ残念だねというのは残念。早く売れて楽しかったでいいのではないか。せっかくでだからいいものを供給しようというならば、定価販売でいいのでは(端数だけ切って売るとか)。9割くらいの金額になるのでは。いいものを安く売っているから殺到して早く売れる。リスト持って購入した人が複数いた。関係者は控えてもらう等考えないといけない。まずどうしたいのか考えることが必要ではないか。

【横溝副会長】精査が必要。

【深井副会長】皆様の意見が様々出ていて、意見を拾い上げる場としての最初のディスカッションとしては良かった。次のステップで絞りこんで進めていけば、今日の議論は生産的であった。オンラインで出席してみて感じたことであるが、マイクがないと聞き取れない。幹事会は多数オンラインの方がいるため、ハイブリッドでどうやって意見を引き出すか課題を実感した。

【朝火常任幹事】判断材料の一つとしてまず第一に学生のためにどういうことをするのが一番いいのかということをお願いしていければいいのではないかと思います。

【増田常任幹事】一回はぐだぐだになってしまう話もしないといけない。役員一年目と経験を重ねている方とはそもそも経験が違い、首都圏の方と物理的に離れている方とは関わり方が違ってくるのは避けて通れない。それは大前提でやっていく。ハイブリッドで行えば少なくとも参加の平等性が保たれる。学祭について芝祭を盛り上げるために参加しているわけで、早く売り切るためにやっているわけではない。値段をあげるのもいいし、例えば場所も人が集まりにくい場所を借りるとか、全体の盛り上げをどう考えていくのかということを考えていくといいのではないか。早く売れない方が全体の盛り上がりへ寄与できるわけだから、そんな考え方があってもいい。どんな場面でも我々役員が楽しく感じる事が大切だと思う。

【横溝副会長】確認・報告事項は見ておいてください。定期総会は6月22日、支部の方は事務補助費のスケジュール見ておいてください。

□ 事務局西川より有元史郎記念館メモリアルコーナーの紹介

まだリリース前ですが、有元史郎メモリアルコーナー1月29日オープン。業績・歴史の展示、タッチパネルサイネージが有。是非ご覧ください。

□ 宮本会長より補足【添付資料】2024年度後援会会議日程について

6月8日三役打ち合わせで総会のリハーサル・会場確認必要、午後から校友会の総会なので九一日となる。

6 月 22 日総会は今の段階で案であるが大講堂をおさえるなら、早めに日程を決める必要がある。今日明日の結論ではないが差支えなければ 6 月 22 日で進めたい。

- ☐ 学内ベンチャー合同会社 HINACO 代表片山 陽和太さんより資料に沿って事業の説明支援のお願いと質疑応答を行った。
- ☐ 勉強会の表彰式
- ☐ 事務局守屋より地域連携・生涯学習企画推進課による公開講座を紹介。本部幹事にメールしたい旨を伝える。

以上

2 2024 年度会議日程検討

コロナ 5 類移行後であるため、後援会行事は対面参加とする。
支部幹事参加の幹事会・定期総会・アクティブプラン選考会・勉強会についてはハイブリッド開催
昨年 7 月よりの変更である、常任幹事会と幹事会を隔月開催で構成
時間については、12～13 ランチミーティング・13:30～15:30 常任幹事会・幹事会
2024 年度の父母懇談会は、夏休みの 1 日をオンラインのみの教員との面談開催と、秋に両キャンパスのツアーを検討。2023 年と同じシステムを利用し、キャンパスのお土産や、飲食サービスも実施予定。

➤ 2024 年度後援会会議日程、議題・行事内容について検討をお願いいたします。

【添付資料】2024 年度後援会会議日程案

4. 報告・確認事項

1 地域交流会実施報告

➤ 今年度の地域交流会実施報告は以下のとおりである。

開催日	開催会場	参加人数（うち一般会員）	昨年参加人数（うち一般会員）	新幹事承諾人数	備考
5/27（土） 北海道支部	札幌グランドホテル（札幌市）	26 名（15 名）	なし	4 名	
6/17（土） 四国支部	JR クレメント高松（高松市）	24 名（10 名）	21 名（6 名）	4 名	
7/22（土） 東海支部	名古屋ガーデンパレス（名古屋市）	44 名（21 名）	45 名（35 名）	1 名	
9/24（日） 九州・沖縄支部	ホテルオークラ福岡（福岡市）	37 名（26 名）	26 名（18 名）	3 名	第 1 部オンライン配信実施
10/8（土） 中国支部	広島ガーデンパレス（広島市）	21 名（11 名）	19 名（10 名）	2 名	
10/15（土） 東北支部	ホテルメトロポリタン仙台（仙台市）	48 名（31 名）	35 名（23 名）	6 名	
11/12（日） 本部・新潟	ホテルグローバルビュー新潟（新潟市）	30 名（21 名）	なし	なし	

開催日	開催会場	参加人数（うち一般会員）	昨年参加人数（うち一般会員）	新幹事承諾人数	備考
11/19（日） 本部・長野	ホテルブエナビスタ（松本市）	48 名（40 名）	なし	なし	
総計		278 名（173 名）	146 名（92 名）	20 名	

今年度の地域交流会は、支部主催の交流会に加え、本部主催として 11/12 に新潟で、11/19 に長野で地域交流会を開催した。コロナが5類に移行したこともあり、昨年度よりも多くのご参加をいただくことができた。

また、交流会を通じて、20 名の方に新幹事を引き受けていただくことができた。

2 インフルエンザ予防接種実施報告

- 豊洲・大宮キャンパスにて、10/19・10/30・11/22 の 3 日間にわたりインフルエンザ予防接種を実施。計 1,778 名の学生が接種。

学外で接種を受けた学生に対して、12 月末までに申請のあった 276 名に対して費用を援助予定。

3 11/4・5 芝浦祭物産展実施報告

- 11/4 芝浦祭物産展準備・11/5 芝浦祭物産展出店日、後援会役員 63 名参加。販売開始後 1 時間程度で全ての商品が完売と盛況のうちに終了。
- 芝浦祭物産展売上 375,000 円。芝浦祭実行委員会に 187,500 円・大宮祭実行委員会に 187,500 円を寄付。
- 昨年売上 397,600 円 売上前年比 94.3% ▲22,600 円

4 200 円朝食実施報告

- 実施期間:4/10～1/22
12 月末現在:豊洲 11,195 食、大宮 11,808 食(内 100 円朝食 807 食)
基準提供数:豊洲 100 食・大宮 117 食
大宮については、2023/9～100 円朝食を追加実施。メニューはメインなし、小鉢 2 品、ごはん、味噌汁

【添付資料】:【大宮】200 円朝食明細

【豊洲】200 円朝食明細

5 2024 年度後援会援助金申請について

2023 年度は以下日程の通り実施予定。

1/15(月) 後援会事務局から各部署へ通知(2/16(金)〆切)

2/26(月) 後援会事務局から後援会役員に対して、各部署からの申請内容をメールで送付。
ご質問を受け付けます(3/10(日)〆切)。

3/23(土) 幹事会にて審議。

6 支部事務補助費について

- 2023 年度支部事務補助費の決算、2024 年度予算案策定のスケジュールです。

日程	担当	やるべきこと
1/15	事務局	①2023 年度決算見通し、②2024 年度事業計画・予算案のエクセルファイルを支部へ送付
2/26	支部	①2023 年度決算見通し、②2024 年度事業計画・予算案を事務局へメールで提出
3 月上旬	事務局	支部口座の確認
3/29	支部	口座残金を後援会口座へ全額返金 残高ゼロがわかる通帳コピーを事務局へ提出
4 月上旬	支部	2023 年度決算確定後、最終版データを事務局へ提出
4/3	事務局	2024 年度支部補助費を送金
4/20(未)	事務局	支部内監査終了後、押印済みの決算書、出金伝票ファイルを事務局へ提出
4 月下旬	支部	支部へファイル返却(送付)

※2024 年 2 月はうるう年になるため、末日が 29 日(木)です。

7 その他

次回幹事会 3 月 23 日(土)

12:00～13:00 幹事会ランチミーティング

13:30～15:30 幹事会

以上

会 長 宮本 明彦(2024 年 1 月 24 日 確認)

議事録署名人 堀江 颯(2024 年 1 月 29 日 確認)

議事録署名人 寺岡 薫(2024 年 1 月 29 日 確認)